

# 稲津 敏行 氏

(高校25回卒)

東海大学 副学長 (理系担当)

工学部応用化学科 教授



## <経歴>

- 1977年 3月 東京理科大学理学部第1部応用化学科卒業
- 1979年 3月 東京理科大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了
- 1982年 3月 東京理科大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了・理学博士
- 1982年 4月 財団法人野口研究所 研究部 研究員
- 1989年 4月 財団法人野口研究所 研究部 糖鎖有機化学研究室 主任研究員
- 2003年 3月 財団法人野口研究所 退職
- 2003年 4月 東海大学工学部応用化学科 教授 (～現在)
- 2004年 4月 東海大学糖鎖科学研究所 研究員 (～2014)
- 2015年 4月 東海大学マイクロ・ナノ研究開発センター所長 (～2019)
- 2015年 4月 東海大学大学院総合理工学研究科 (博士課程) 研究科長 (～2020)
- 2019年 4月 東海大学 副学長 (理系担当) (～現在)
- 2022年 5月 学校法人東海大学 理事 (～現在)

## <主な活動内容>

研究は、有機合成化学を基盤とし、生物有機化学、糖鎖有機化学分野で、特に合成法の開発を中心に研究を行ってきました。糖鎖合成、ペプチド合成、糖ペプチド合成、フルオラス合成などの新規合成法の開発です。

どちらかという、イチかバチかの博打打ちのような仕事であったと思っています。東海大学に転職した後に、野口研時代のスタッフから私には口癖があると聞かされました。

「あー、やっぱりダメだったか」だそうです。

ここまでやって来られたのは、多くの先生方、研究室のスタッフ、大学院生、卒業研究

生、周囲の方々に恵まれたことに尽きると思います。

学会活動では、日本糖質学会評議員及び理事、日本糖鎖科学コンソーシアム理事及び監事、日本化学会欧文誌編集委員、東京糖鎖研究会幹事、FCCA 幹事、日本シクロデキストリン学会評議員、フルオラス研究会評議員、有機合成化学協会代議員を歴任、特に 2009～2011 年には日本糖質学会会長、2011～2020 年に東京糖鎖研究会会長を務めました。

### <受賞歴、メディア実績、発行物等>

- ・日経産業新聞（1997年9月25日）
- ・財団法人野口研究所技術賞（1997）

### <高校時代はどんな学生だった？>

英語の授業が能力別で行われ、上のクラスから下のクラスへ落とされた時のことは鮮明に記憶しています。

化学は好きでした。担当の島津先生は厳しかったですが、周期表の暗記など今でも先生のおかげと感謝しています。

3回の小田高祭はすべて全力でした。西遊記の劇やタイムトンネル(お化け屋敷)など、楽しい思い出です。3年時の小田高祭仲間と卒業後に熱気球を作りました。この気球作りは私の人生に大きな影響をもたらしました。

### <在校生・卒業生（後輩）へのメッセージ>

科学の世界では、 $1 + 1 = 2$ にならないことが多々あります。答えを求めるのではなく、そのプロセスを理解し、時には楽しむことが重要です。

加えて、運も実力のうちと言われますが、自分で運をつかみ取ってください。その方法は、私にも未だわかりませんが、きっと目の前の課題に全力でぶつかっていくことではないかと思っています。



大学時代の気球グループの仲間と



講演中の様子